

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・22〉	いわき市立	小川	小学校
＜実施日＞	平成 28年 4月 14日（木）			
＜実践教科等＞	※当てはまる番号に○を付けてください。4は（ ）に教科等を入れてください。			
1 理科	② 学級活動	3 総合的な学習の時間	4 その他（ ）	
＜実践内容＞				
1 題材名 放射線の何に気をつければいいの？				
2 本時のねらい				
○放射線から身を守るために日常生活で気をつけなければならないことを知るとともに、安心して生活ができるようにする。				
3 本時の展開				
学習活動・内容	時間	指導上の留意点		
1 本時の課題を知る。	5	○放射線は良いところもあるが体に悪いこともあることを確認し、自分の身を守るためにどうしたらよいか考えることを知る。		
④ ほうしゃせんからみをまもるにはどうしたらいいのかな。				
2 放射線や放射性物質から身を守るにはどうしたらいいのか話し合う。	30	○紙芝居の読み聞かせを行い、放射線について視覚的にとらえさせる。 ○紙芝居をもとにして、体内に放射性物質が入らないようにする方法を理解させ、実行しようという意欲を持たせる。 ○学校でも放射線量の調査、給食の食材の安全などいろいろなところで守られていることを理解させることで、不安を取り除けるようにする。		
3 学習のまとめをする。	10	○今日の学習でわかったことを、教師と一緒にワークシートにまとめる。 ○自分ができることについてワークシートにまとめ発表し合う。		
4 事後指導				
放射性物質の存在を知り、放射線から自分の体を守る方法を考え気をつけて生活できる。				
＜成果＞				
○これまで、配付されている資料等を使って指導してきたが、なかなか低学年には難しく、理解できないことが多かったが、今回紙芝居を用いたことで、低学年にも比較的容易に理解することができた。				
○ワークシートを活用することで、学習したことを記録として残すこともできた。				
＜課題＞				
○これまで放射線教育は学級活動としての位置づけが大きかったが、道徳の教科化に伴って、道徳的な立場での指導という点にまで触れられるとよかった。				
資料作成担当者職（教諭）氏名（久野 悦子）		学校電話番号（ 83-0156 ）		

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日（月）までに電子メールで送信してください。
（送信先：kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp）